エルサレム宣言

本会の JPIC 国際評議会は、2019 年 6 月 3～9 日にエルサレムで会合を開きました。参加者たちは、これまでの 3 年間の歩みを振り返るとともに、今後 3 年間の JPIC が力を注ぐべき方向についても話し合いました。管区長協議会の JPIC 委員長たちは、今年の会合の決定事項を効率的に実施するための下準備にリーダーシップを発揮しました。

本会の 2018 年総評議会の総括文書にあるように、「私たちは夢を見る人でありたいと同時に、希望の預言者でありたいと思います。福音を告げ知らせて神の国を築き、現代世界に広がる不正と暴力を糾弾し、それと戦うことができる存在でありたいと願っているのです。こうした態度があれば、奉献生活者としての豊かな実りを産むことができるでしょう」（PCO/18, 177 参照）。

ラウダート・シ：総合的エコロジカルな回心

教皇の回勅「ラウダート・シ」に刺激されて、私たちは次のことを実感しています。「被造物の保護と正義と平和の促進のために働くためには、ライフスタイルを質素にし、環境と社会的連帯に敏感であることが必要であり、それこそは、フランシスカンのカリスマの表明なのです。生活とミッションのプロジェクトにある各兄弟共同体は、被造物を尊重し保護することを表明したライフスタイルを選択し、実践するような環境に優しいプログラムを発展させる義務があります」（PCO/18, 114 – 116 参照）。

2018 年総評議会の総括文書と「ラウダート・シ」に触発された私たちは、以下のことを提案いたします。

- 個人としても共同体としてもエコロジカルな回心を徹底的に行うことで、現代世界に預言的な立場を新たに示す。
- 積極的非暴力と正義ある平和を実現するための手段を用いる。
- 教会の内外で、より広域的に協力していく。
- 「パックス・クリスティ・インターナショナル」と共に、その「カトリック的非暴力」活動を行う。
- 「ラウダート・シ」を典礼に取り入れ、実践していく。
- この回勅についての知識を、黙想会や勉強会などで、促進していく。
- 環境聖人たちの祝日を祝う。
- それに関連した資料を収集し、作成し、分かち合う（説教、信仰教育、日常）。
- 「ラウダート・シ」を促進するために、メディアや SNS を活用する。

気候危機

JPIC 国際評議会は、現在世界中で見られる地球環境の破壊と、それが貧しい人々や弱者にもたらす壊滅的な打撃を、深く憂慮しています。誤った人間の行動が、私たちの共に暮らす家の重要な気候体系を破壊しているのだということを、私たちは認識しています。地球の生命共同体の破局を避けたいと思うならば、その軌道を正すために、私たち人類に残された時間はあまりありません。この実存的危機にあって、私たちは公平な温暖化対策を求める若者たちの声に耳を傾けなくてはなりません。そこで、次のような決意を固めました。

- 典礼の中で、また連帯の行動を通して、「被造物の季節」（Season of Creation）を推進し、祝う。
- 「グローバルなカトリック教徒による気候運動」（Global Catholic Climate Movement）と協力する。
- 汚染する化石燃料から脱却し、クリーンで再生可能なエネルギーに再投資する。
- 公平な温暖化対策への世界規模の及び地域の推進運動に参加する。
- 「ラウダート・シ」で扱われている問題への意識を高め、理解を深める。
- エコロジカルな回心に関する良い模範となる実例を集め、分かち合う。
- ハイパー消費の文化に取って代わる健全な文化を推進する。
- 公平な温暖化対策を擁護するような市民社会、政府、起業家と手を結ぶ。
- 樹木を植える。

社会環境危機

鉱業や天然ガス開発、単作農業などの乱採取業者により地球環境と貧しい人々にもたらされる多くの壊滅的状況にも、私たちは気づいています。「鉱業の技術、人々の強制退去や無力化、土壌や水の汚染、鉱業集団の腐敗と傲慢さ、そして、鉱業による富の格差は、私たちに、それらの真の価値を問い直すようにと求めています」（ヴェローナ宣言）。私たちはフランシスカンとして、そうした乱採取業者の影響を受けているアマゾンの人々や世界中の地域社会と連帯するように求められているのだと思います。私たちは、「違う種類の経済を、すなわち排他的でなく包摂的な経済、非人間的ではなく人間的な経済、環境を乱開発するのではなく、環境を大切にする経済」（教皇フランシスコの 2019 年「フランシスコの経済」イベントへの招待）を推進しなくてはなりません。私たちの共に暮らす家に対する社会的、環境的、経済的破壊に反対し、それを削減し、修復するために力を尽くしたいと思います。そこで、以下のことを誓います。

- 無責任な消費の使い捨て文化に反対する。
- 乱採取業者の犠牲者に連帯を示し、彼らを擁護する。
- 「ノーという権利」運動に参加する。
- 製品ボイコットのための戦略を立てる。
- 乱採取や人権侵害に組する企業から脱却し、持続可能なプロジェクトに再投資する。
- 「Franciscans International & Thematic Social Forum on Extractivism」と協力する。（フランシスカンズ・インターナショナルと乱採取に関する社会フォーラム）
- この問題と取り組む NGO と働く本会の諸構成単位を鼓舞する。
- ビジネススクールと連携して、企業の社会的責任、エコロジカルな回心及び公平な温暖化対策を支援するような経済モデルを提案する。

難民危機

地球規模の現象としての難民は、様々な要因で生まれていると考えられます。例えば、暴力、社会的不平等、政治的・経済的危機、気候危機などです。世界中に急速に増大する難民の問題は、私たち聖フランシスコの息子たちに問いかけます。「聖書的な啓示に根差すフランシスカンの人生観が示していること、それは、私たちが唯一の御父のもとに、皆兄弟姉妹であり、目に見えない絆で結びあわされていて、宇宙のすべての被造物と一種の普遍的な家族を形成しているということです。ですから、私たちは人間の移動可能性の深刻な危機に無関心でいることはできません。移民の兄弟たちに無関心でいることはできないのです」（PCO/18, 122 – 123 参照）。そこで、以下のことを誓います。

- 難民たちを兄弟姉妹として受け入れ、歓迎し、大切にすることで、おもてなしの文化と共通の人間性の確立を目指す。
- 私たちの家を、難民を歓迎し、彼らに耳を傾け、対話するために開放する。
- 「世界難民の日」と「人身売買反対の日」を行う。
- 既存の難民センターでボランティア活動を行う。
- 初期及び生涯養成の一環として、難民センターでの兄弟たちの研修を促進する。
- 若者たちと兄弟たちの集中交流キャンプを計画実施する。
- 難民への偏見をなくすような取り組みのキャンペーンを推進する。
- フランシスカン・アメリカ難民ネットワークに参加する。
- 難民支援の法的手段を広げていく。

聖地分管区の兄弟たちが行っている偉大な貢献を、私たちは目にし、素晴らしいと思いました。彼らは、地域の暴力や紛争が続いているにも関わらず、平和の種を撒き、人権を擁護しています。私たちは、フランシスカンとして、「戦争と暴力の地に在って、苦しむ人々を見捨てずに、平和と和睦の道具として働」かねばなりません（CPO/18, 168 参照）。一部の国々で起こっている政治的危機と深刻な人権侵害を深く憂慮しつつ、私たちは抑圧された人々、最も小さき人々、迷える人々、そして、末端に置かれた人々への連帯を表明いたします。

JPIC 国際評議会は、時代のしるしを読み、識別してきました。私たちは、フランシスカンとして、貧しい人々の叫びと地球の叫びに対して、徹底した総合的エコロジカルな回心でもって、応えなくてはなりません。それには、霊的、社会的、経済的、政治的側面が含まれます。私たちは、派遣されて宣教する使命を帯びた観想的兄弟共同体として、観想と祈り、そして、貧しい人々と地球への連帯とを通して、行動することに献身したいと思います。フランシスコ会のすべての兄弟が、私たちの召命を深め、この 21 世紀における回心への呼び掛けに応えてくれることを願ってやみません。

JPIC 国際評議会

Francesco Zecca, OFM
COMPI Coordinator

Ngoc Tiem Tran, OFM
COTAF Coordinator

Mattia Olszewski, OFM
NORD SLAVIC Coordinator

Tadej Strehovec OFM
SUD SLAVIC Coordinator

José Eriberto Parra Torres, OFM
BOLIVARIANA Coordinator

Joseph McKay, OFM
SAOOC Coordinator

Samuel Lopez, OFM
N.S. GUADALUPE Coordinator

Luis Méndez, OFM
BRASILIANA Coordinator

Máximo Cavieres, OFM
CONO SUR Coordinator

Angelito Andig Cortéz, OFM
EAC Coordinator
Animation Committee

Russell Testa
ESC Coordinator

Giorgio Vigna, OFM
Holy Land Coordinator

Fausto Yudego, OFM
CONFRES Coordinator

Jacek Orzechowski, OFM
Animation Committee

林漢昱 ***Rufino***, OFM
JPIC Office – Rome

Jaime Campos, OFM
JPIC Office – Rome